

7 その他全般的事項

<保健医療技術学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

【該当なし】

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

- | | |
|---|--|
| ① 実施体制 | |
| a 委員会の設置状況 | 教育推進機構会議（平成24年4月1日設置） ※規程は別添 |
| b 委員会の開催状況 | 平成25年度年17回開催。教員出席者数（延べ）146名。 |
| c 委員会の審議事項等 | ・教育課程の編成に関する事項
・宗教教育センターに関する事項
・教育推進機構の事業計画および予算編成に関する事項
・教育推進機構の自己点検・評価に関する事項
・教育推進機構に関連する諸規程の改廃に関する事項
・その他教育推進機構に関する必要な事項 |
| ② 実施状況 | |
| a 実施内容 | |
| 1) 学生に対する授業アンケート | 6) 基礎学力調査 |
| 2) FD研究会の開催 | 7) 英語基礎力調査 |
| 3) 研修会等への参加支援 | 8) 入学前教育 |
| 4) 研修会参加報告会の開催 | 9) 刊行物の発行 |
| 5) e-learningの推進 | |
| b 実施方法 | |
| 1) 全学規模で各期末に実施。対象は、全教員（専任・非常勤）。 | |
| 2) FDに関連する研修および取組事業の成果・課題について検討。 | |
| 3) 専任教員を対象にFD関連研修会等の情報発信と参加支援。 | |
| 4) FD関連研修会に参加した教職員より研修会内容の報告、情報交換、課題検討。 | |
| 5) 教授法開発としてのe-learning利用の推進。 | |
| 6) 1回生・2回生・3回生の基礎学力調査とアンケートによる学習実態調査の実施。 | |
| 7) 入学時および2回生進級時における英語基礎力調査の実施。 | |
| 8) 入学予定者に対する授業体験等の実施。 | |
| 9) 各取組の成果・分析結果を取りまとめ、刊行物として発行。 | |
| c 開催状況（教員の参加状況含む） | |
| 1) ③学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a-1) に同じ。 | |
| 2) FD研究会を3回開催。
「平成24年度授業アンケート結果をふまえて」：参加者26名
「大学生の学ぶ意欲を引き出すジェネリックスキルの育成と評価」：参加者59名
「平成25年度基礎学力調査結果報告」：参加者226名 | |
| 3) 教員参加研修会：4研修会。参加教員数（延べ）：5名。 | |
| 4) 「FD関連研修会への参加報告・情報交換会」参加者21名。 | |
| 5) 春学期：利用教員63名、139講座、受講延べ人数6,023名。
秋学期：利用教員75名、155科目、受講延べ人数6,480名。
利用説明会：春学期2回参加者15名、秋学期2回参加者8名 | |
| 6) 【受験者数】
1回生：1,632名（実施率98.2%）、2回生：1,301名（実施率84.1%）、3回生：1,174名（実施率75.4%） | |
| 7) 【受験者数】第1回目：1,633名（実施率98.3%）、第2回目：1,360名（実施率91.1%） | |
| 8) 【授業体験参加者数（延べ）】 計2回：225名（参加率70.6%） | |
| 9) 『2012年度通学課程授業アンケート結果報告集』2013年6月発行800部制作、学内外へ配布。
『2013年度基礎学力調査結果報告書』2013年12月600部制作、学内配布。
『2012年度FD関連研修会 報告書』2014年3月500部制作、学内配付。 | |
| d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 | |
| 1) 授業アンケート集計結果の分析を行い、結果報告会を開催し現状把握を行った。また、分析結果は刊行物にて学内外へ公表。 | |
| 2) 取組内容の点検、ならびに実践（ワークショップ）に基づく授業改善への反映を行った。
開催内容は刊行物にて学内外へ公表し、情報共有を図っている。 | |
| 3) 学外のFD関連研修会の案内および研修会報告を刊行物やホームページ上で学内外へ公表した。 | |
| 4) 効果を得た研修会を学内で報告、情報発信・共有化を図り各取組への反映を行った。 | |
| 5) 実施内容と結果の分析を行い刊行物にて学内外へ公表、利用説明会を開催し、新規利用者の拡大。 | |

- 6) 回生毎に調査の結果分析を行い、学内向けに結果報告会の開催、刊行物による情報共有を図った。また、1回生に関しては分析結果に基づき初年次の入門ゼミのシラバスや授業に反映させた。
- 7) 入学時・2回生進級時の英語基礎力調査と結果の分析を行い、刊行物による情報共有を図った。また、結果に基づく習熟度別クラス編成による英語授業を行った。
- 8) 学部学科別に授業体験の実施。スポーツ強化・課外活動入学の学生向けにワークショップの開催
- 9) 刊行物による全学的な情報共有ならびに意識の醸成。学外・高等教育機関への広報。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- 1) 春学期 実施教員数(実施率)：専任183名(90.6%)、非常勤343名(78.9%)
 実施講座数(実施率)：1,038科目(74.41%) 実施時期：平成25年7月15日～平成25年7月27日
- 秋学期 実施教員数(実施率)：専任191名(89.3%)、非常勤316名(76.7%)
 実施講座数(実施率)：1,001講座(70.64%) 実施時期：平成25年12月21日～平成26年1月23日

b 教員や学生への公開状況、方法等

全体の集計結果の分析を行い、結果報告会を開催し現状把握を行なった。特に入門ゼミに関しては、各学部学科へ学科毎の分析結果を返却し、現状把握およびカリキュラム再編の検討材料として提供した。総合的な分析結果は刊行物にて学内外へ公表、個別教員の結果については学内のみ公表した。また、授業アンケートの活用法についてのFD研究会を開催した。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- I. 平成26年3月1日公表 『佛教大学自己点検・評価報告書2012』(大学基準協会認証評価受審用)
- II. 平成25年12月1日公表 『佛教大学自己点検・評価活動報告書2012』
- II. 平成26年3月1日公表 『佛教大学教育研究活動年報(2012年度版)』

b 公表方法

- I. ホームページ上に公開し、大学図書館に配架(大学基準協会からの評価結果を含む)。
- II. 大学図書館に配架。
- III. 大学図書館に配架。

③ 認証評価を受ける計画

- ・公益財団法人大学基準協会において認証評価を受審するため、学内自己点検・評価結果を取りまとめた「自己点検・評価報告書」を平成24年4月に提出し、平成24年9月の実地調査を経て、平成25年3月に同協会の大学基準に適合していることが認定された。
- ・認定期間は、平成25年4月1日～平成32年3月31日。
- ・なお、努力課題6点および改善勧告1点が付されたため、その改善報告書の作成および提出を平成28年7月末までに行う予定である。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成 26 年 6 月 30 日)

(別紙)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成 24 年 4 月に保健医療技術学部新たに看護学科(入学定員 65 名)を開設し、その設置の趣旨・目的を達成すべく学生募集を開始し、本年度では第 3 期入学生を迎えた。

学生確保については、入学定員 65 名に対し志願者 1,320 名で、昨年度比約 77%と志願者減の結果となった。また、下表のとおり、志願者の 90%近くにあたる 1,172 名が近畿圏からの志願者となっているが、こちらも昨年度比 74%と志願者減となった。

これは、平成 26 年度開設の看護系大学または看護系学部学科の増加、特に近畿圏内、京都府内においても看護系大学が開設されていることから、受験生が分散したものと推測される。

しかし、京滋における志願者は 798 名と全志願者の半数以上を占めていることから、地域医療に貢献する質の高い看護師の養成を目的とした本学に対する看護師養成の要望と期待の高さが伺える。

年々看護系大学または看護系学部学科が増加する傾向にあるが、地域に密着し、総合大学で学ぶ看護教育の理念を強く打ち出し、次年度以降についても、学生確保に関する施策を展開し、より積極的な入試広報を展開する予定である。

近畿圏の志願者内訳

学科	都道府県	平成 24 年度入試 志願者数	平成 25 年度入試 志願者数	平成 26 年度入試 志願者数
看護学科	福井	24 名	10 名	4 名
	三重	7 名	30 名	13 名
	滋賀	212 名	310 名	337 名
	京都	501 名	757 名	461 名
	大坂	288 名	303 名	248 名
	兵庫	75 名	74 名	43 名
	奈良	129 名	58 名	41 名
	和歌山	23 名	40 名	25 名
	合計		1,259 名	1,582 名

以上、現時点における所見であり、他については設置届出時の計画のとおりである。